

## 選択

「人生は選択の連続である」

シェイクスピアのハムレットの中に出てくる有名な言葉は、様々な場面で引用されるため、知っている人も多いでしょう。そして、日々を過ごしていると、まさに実感として感じることもあります。

生活の中での小さな選択だけでなく、時折、自らの人生に大きな影響を与える選択にも出会うものです。その時に何をどのように選ぶのかで、生きる世界の見え方までもが変化します。

たとえば、高校受験や大学受験でよく聞く選択として、自分にとって難しいと思う学校ではなく、入りやすい学校を選択するということがあります。できれば、努力の意味を考えると、精一杯頑張って挑戦することで、合格を勝ち取りに行く姿勢であって欲しいと思います。

自分を低く見積もったり、妥協をしたり、逃避したりすると、時にそれは癖になってしまいます。合格することが難しい学校にも、合格しやすい学校にも一生懸命努力をする人もいればそうでない人もいますが、精一杯の努力の結果合格した場であれば、出会いも環境も、これから自分を形作っていく場に対して納得できるのではないかと思います。

もちろん、選択したくとも自分の置かれている状況によっては選択できないこともあります。その場合はもちろん、ある種の大変な苦勞を伴う場合が多いものですが、その苦勞も価値あることではないかと思います。

先日カンボジアのボランティアの研修旅行に行ってきたという、高校2年生3名と話をしました。そのうちの1人の生徒は、高1の時の授業で聞いたカンボジアの政情が頭に残っていて、高2になってボランティアの案内を見て、行ってみたいと思ったということです。親にどうしても行きたい旨を話して、友人も誘いました。

誘われた友人たちは、国際関係や教職関係に進学したいこともあって、やはり親に頼んで実現にこぎつけました。3人で行ったのですが、現地ではバラバラに分かれて、当初の目的のボランティア体験をしてきました。もちろん、観光要素もあったのですが、ボランティアの方にずっと心が動いたと話してくれました。

授業がきっかけの1年越しの選択は、華やかなものではないですが、目的を見据えた他にない体験で、充実したものとなったようです。

彼らの行動力と思いに感動させられ、嬉しそうな笑顔に幸せな気持ちにさせてもらいました。